

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

- 1 . 講 師 北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系
歯周歯内治療学分野 准教授 長澤 敏行 殿
- 2 . 演 題 *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* leukotoxin
の病原性
- 3 . 日 時 平成23年7月1日(金)
10時30分 ~ 12時00分
12:00~12:30は質疑応答の時間とします。
- 4 . 場 所 歯科棟南 4階 演習室
- 5 . 内 容

Aggregatibacter actinomycetemcomitans (*A. actinomycetemcomitans*)は歯周炎をはじめ心内膜炎、髄膜炎、骨髄炎など様々な疾患と関わることが知られている。*A. actinomycetemcomitans* leukotoxin promoterに530bpの欠失を持つJP2株はleukotoxinを多量に産生するが、HaubekらはJP2株が検出された若年者では検出されなかった人よりも歯周炎の発症リスクが10倍以上高かったことを報告した。また*A. actinomycetemcomitans*感染時に作られたleukotoxinに対する抗体が自己に反応して血栓を形成する可能性について我々は報告した。これらを踏まえ*A. actinomycetemcomitans* leukotoxinの病原性についての最近の知見を紹介する。

連絡先 歯周病学分野 渡辺 久 (内線 5487)